

事業名 CD	0110020107	小学校スクールバス運行事業
細分化した事業名		小学校スクールバス運行事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり
	中項目	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実
	小項目	学校教育の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	統合によって、通学距離が長くなった児童の登校及び下校のため。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	韮崎北東小児童・韮崎北西小児童
これまでの改善経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 韮崎北東北西小それぞれの統合の際の通学手段として導入された。(各地区によりスクールバスの乗車児童は定められている。)</li> <li>・ 平成17年から民間委託を進め、現在の個人委託は1台である。</li> </ul>
事業の手段 (どんなやり方/手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/>市 <input checked="" type="checkbox"/>委託 <input type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 韮崎北東小学校2台、韮崎北西小学校2台のスクールバスにより、各地区の該当児童を対象に送迎を実施している。(民間委託3台と個人委託1台)</li> <li>・ 韮崎北西小学校の祖母石地区においては、国道を横断する危険を伴うため民間業者のバスを借上げ、登校及び下校の送迎を行っている。</li> <li>・ 委託のバスは、校外活動の一部にも運行利用する。</li> </ul>
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	統合により通学が困難になった児童の負担の軽減や安全性が確保される。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)	18,497	18,122	17,533	
財源内訳	国庫支出金	0	0		
	県支出金	0	0		
	市債	0	0		
	その他	0	0		
	一般財源	18,497	18,122	17,533	
B	担当職員数(非常勤   職員E) (人)	0.00 0.16	0.16	0.00 0.16	
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,104	1,105	1,092	
D	総事業費(A+C) (千円)	19,601	19,227	18,625	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	581 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。  
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。  
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	スクールバス運行回数	(回) 登下校回数	1,735	1,768	1,712
	借上バス運行回数	(回) 登下校回数	255	254	253
成果指標	事故件数(スクールバス)	(件)	0	1	0
	事故件数(借上げバス)	(件)	0	0	0
効率指標	運行コスト(スクールバス)	委託分(円) 事業費13,969千円/運行回数 1,712回	8,422	8,123	8,159
	運行コスト(借上げバス)	借上分(円) 事業費4,656千円/運行回数25 3回	19,561	19,157	18,403

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 統合によって通学距離が長くなった児童の登校及び下校の負担が軽減され、安全面の確保も図られているため妥当である。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 安全に運行できている。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 登校及び下校以外に、校外活動の一部としても利用していることは効率的である。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
------	--

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり
---------	---

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 23年度の実施内容を継続する。	(2) 23年度 児童数・交通量に沿ったスクールバス運行台数・経路等を考え、措置する。	(3) 22年度 個人委託の民間委託への切替及びスクールバス運行台数・経路の検討
	21年度の改善計画 現行のとおり		
21年度の改善結果 現行のとおり			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	
---	--

課長所見	統合により通学が困難になった児童の通学の負担軽減や安全性を確保するためスクールバスを運行しているが、運行方法についての検討を行う。
------	---